

「阪大」と災害救援で協定

西宮市のNPOなど3団体

大阪大大学院人間科学研究科付属「未来共創センター」は、災害救援や復興支援に携わる国内外の3団体と「大阪大学オムニサイト」の協定を締結し、記念シンポジウムを2日開く。大阪北部地震や西日本豪雨も踏まえた意見が交わされる。

【高尾貞成】

英語であらゆるを意味する「オムニ」と場を意味する「サイト」でできた大阪大オムニサイトは、産・官・社・学の連携で支え合い、共生できる「場」を共に創出しようという仕組み。昨年4月に始まり、企業や地方自治体などと協定を締結。全国の避難所や宗

英語であらゆるを意味する「オムニ」と場を意味する「サイト」でできた大阪大オムニサイトは、産・官・社・学の連携で支え合い、共生できる「場」を共に創出しようという仕組み。昨年4月に始まり、企業や地方自治体などと協定を締結。全国の避難所や宗

きょう 大阪・吹田で記念シンポ

Gs)にも取り組んでいる。今回、西宮市のNPO法人「日本災害救援ボランティアネットワーク」(NVAAD)▽東日本大震災の被災地・岩手県久慈市を拠点に復興に取り組むNPO法人「北いわて未来ラボ」▽四川大地震(2008年)の被災地で活動する中国の「新安世紀教育安全科技研究院」――の3団体と新たに協定を結び、交流の継続と発展を目指す。

協定締結記念シンポジウムは防災・救援・復興支援がテーマで、新安世紀教育安全科技研究院の張国遠院長が「中国における災害NGOの活動」と題して記念講演。被災の教訓や救援現場から学んだ知恵、復興に貢献できる可能性などを議論する。阪神大震災以降、さまざまな被災地で活動してきたNVAAD理事長の渥美公秀・大阪大大学院教授(共生行動論)がコーディネーターを務める。

シンポは大阪大大学院人間科学研究科北館2階ライニングコモンズ(大阪府吹田市)で2日午後1時半～3時半。無料。問い合わせは人間科学研究科未来共生学講座・渥美研究室(06・6879・8070)。